

ひ岡組合九州同盟會と改め社民黨を支持して來たのであつたが、同七年四月國社黨の樹立問題起ると共に本部の方針に従ひ同月三十日九州臨時大會を開催して國社黨支持を宣言したのである。

而して同年中に於ける主なる事項は、糸島郡聯合會（十月二十六日）並に北九州聯合會（十月三十日、小倉、八幡、金取、蓮賀、鞍手の郡市）の二聯合會を新に結成したこと、青年部浮羽支部（十一月一日）及び五支部の結成を見るに至り、組合員約一〇〇〇名を増加し、一方左翼編佐聯合會、中間全農縣聯と抗争しながら、穩健なる指導方針に基き着々組合の勢力を増大してゐるのである。

報告第一〇六號

全農編佐聯合會感田支部創立一週年記念農民大會